



JONAN TIMES

発行■長崎県立
大村城南高等学校
〒856-0835
長崎県大村市久原
1丁目416番地

大村城南

検索

学校行事

～第67回長崎県高校総体～

ボート部 男女 舵手付きクォドルプル優勝 インターハイ出場

男子：シングルスカル2位
女子：シングルスカル3位、ダブルスカル3位



～高総体 城南生の活躍～



「勝負の時 夢の舞台へ 駆け上がれ」を大会スローガンに第67回長崎県高等学校総合体育大会が開催されました。開会式の日、昼過ぎまで本降りの雨が続きましたが、開会式直前に天気が回復し、各校の気合いの入った行進など長崎県の教育力の高さを示してくれる素晴らしい開会式でした。本校の選手団も、ボート競技の優勝旗を先頭に見事な行進を見せてくれました。各競技の試合結果については、ほとんどの部が健闘はしたものの、目標達成には今ひとつ及びませんでした。高総体は他の大会とは意気込みが違い、どの学校も勝負に徹しています。勝つことの厳しさを否応なく感じさせられました。目標を果たせず、敗戦の涙にくれながらも、真摯に努力してきたことが人間的成長につながってくれるものと信じています。そういう中で、ボート部男女がインターハイ出場を獲得しました。顧問、部員全員の日頃の精進が、舵手付きクォドルプルの男女優勝として実を結んだのです。保護者の方々の応援も他校を圧するもので、生徒の活躍を支えてくれました。

陸上競技を観戦していて、心温まる光景を目にしました。女子七種競技の最終種目 800m 走での一幕です。七種競技は短距離走、中距離走、跳躍、投擲の総合力を競うので、最終種目ともなると、選手は疲労困憊しています。一人の選手が1周目から思うように走れず苦しんでいるのが伝わってきました。他の選手から大きく遅れ、ゴールするや否や倒れ込みました。先にゴールしていた選手がすぐに介抱しに駆けつけましたが、何とそこには出場選手全員の姿があったのです。そして、倒れた選手を支え、全員で手をつないで観客席に向かって挨拶をして、競技を終えたのです。

生徒の人的成長にスポーツが寄与する力を考えさせられた4日間でした。

『高総体観戦記』

校長

吉田 寿

生活系列

家庭科技術検定に挑戦しながら、家庭生活に関する知識の習得や生活技術の習得を目指した学習活動を行います。

和服1級・洋服1級・食物1級を取得することができれば三冠王として表彰されます。

生活系列を希望した理由（2年生）

家庭に入ったときに役立つ・・・10名
 将来の進路のため・・・7名
 食物や被服に興味がある・・・5名



地域開放講座

5月16日（土）本年度1回目の実施内容は、グリーン講座でした。

西洋芝の種を土にまき、それを布で球状にします。これが人の顔に見えるように、鼻・耳を作り、目を付けると完成です。

水を吸えるよう顔から紐を出し、水を入れたビンの上に置きます。芝の芽が出ると、まるで緑の髪の毛のように仕上がります。



人文国際部

毎週水曜日に英会話やゲーム、映画鑑賞などを通して英語や外国の文化に触れる活動をしています。

顧問のロバート先生はお菓子作りが得意なので、年に数回アメリカのお菓子の作り方を教えてもらうこともあり、楽しく活動しています。



吹奏楽部

今年度、これまでに対外的な活動として「ハウステンボスマーチングフェスタ2015」と「県高等学校連合音楽会」に参加しました。次は7月末に行われる「県吹奏楽コンクール」です。あえて自由曲には難易度の高い曲を選曲し、金賞を目指して頑張っています。

